

認定カウンセラー養成カリキュラムによる

第138回 日本カウンセリング学会 静岡研修会

2018年11月17日(土)・18日(日)

会場 静岡ホテル時之栖

主催 一般社団法人日本カウンセリング学会
協力 日本カウンセリング学会静岡県支部

後援 静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、
浜松市教育委員会、日本学校教育相談学会静岡県支部

ご挨拶

静岡での研修会も、今年で6回目になります。認定カウンセラーの資格を取りやすいように領域のバランスも考慮して研修テーマを組んであります。公認心理師の資格獲得も視野に入れて頑張ってください。

実行委員長(静岡県支部長) 藁科 正弘

1. 講座の案内 No.1 と No.2 は 15 時間コース、No.3 と No.4 は 7.5 時間コース

講座	講座内容	領域	時間	定員	講師
No.1	学校カウンセリング	C・E	15 時間	40 名	菅野 純先生 早稲田大学名誉教授
No.2	愛着障害・発達障害の理解とその支援	B・E	15 時間	40 名	米澤 好史先生 和歌山大学教育学部教授
No.3	心理カウンセラーの実践力研鑽の場と機会に	C	7.5 時間	40 名	福島 ^{おさみ} 脩美先生 東京学芸大学・目白大学名誉教授
No.4	来談者中心カウンセリング	A	7.5 時間	40 名	野島 一彦先生 跡見学園女子大学教授

2. 日程

9:30 10:00

12:30 13:30

18:30 19:00 21:00

第1日目 11月17日	受付	2.5時間	昼食	5時間	懇親会
第2日目 11月18日	受付	3時間	昼食	4.5時間	

9:00 9:30

18:00

3. 参加費

	講座 No.1・2	講座 No.3・4
日本カウンセリング学会静岡県支部会員	20,000 円	10,000 円
日本カウンセリング学会会員	} 22,000 円	11,000 円
日本学校教育相談学会会員		
一般	25,000 円	12,500 円
学生(社会人学生は除く)	16,000 円	8,000 円
懇親会(参加希望者、近隣の会場にて)	5,000 円	

4. 研修ポイント

「日本カウンセリング学会認定カウンセラー」「臨床心理士」
「日本学校教育相談学会認定学校カウンセラー」「教育カウンセラー協会認定教育カウンセラー」等のポイントになります。

講座1 (17・18日) 学校カウンセリング 菅野 純先生 早稲田大学名誉教授



カウンセリングは様々な分野に展開して現在に至っています。この講座では、①学校カウンセリング、②生涯発達カウンセリング、③産業カウンセリング、④医療・看護カウンセリング、⑤保健・福祉カウンセリング、⑥コミュニティカウンセリング、の各分野におけるカウンセリングの理論と技法を紹介します。より具体的に学ぶために可能な限り事例検討と実習を取り入れたいと思います。

私自身は学校カウンセリングを軸とし、生涯発達カウンセリング、保健・福祉カウンセリングの分野を主に臨床経験を積んできました。参加者の皆さんからの実践例や経験知をたくさん出していただくことで、実り多い研修になればと願っております。

<プロフィール>

宮城県仙台市出身。早稲田大学第一文学部心理学専攻卒業、同大学院文学研究科心理学専攻修士課程修了。東京都八王子市教育センター教育相談員・主任教育相談員を経て早稲田大学勤務。人間科学学術院専任講師、助教授、教授をへて現在、名誉教授。臨床心理士。心理教材『K J Qマトリックス』を開発。その普及のための「<心の基礎>教育を学ぶ会」会長。

主な著書は、『教師のためのカウンセリング実践講座』金子書房、『子どもこころを育てる「ひとこと」探し』ほんの森出版、『不登校 予防と支援Q&A70』明治図書、『反省的家族論』実務教育出版、『武道 子どもの心をはぐくむ』日本武道館、他多数。

講座2 (17・18日) 愛着障害・発達障害の理解とその支援

米澤 好史先生 和歌山大学教育学部教授



発達障害と混同されやすく、正確なアセスメントがなされないため、支援が困難になりやすい愛着障害、愛着の問題を抱えるこどもが増えています。愛着形成と愛着障害についての誤解も指摘しながら、愛着障害と発達障害の違いとその見極めのポイントを紹介いたします。そして、愛着の問題を抱えるこどもへの適切ではない対応を確認し、「愛情の器」モデルに基づく愛着修復プログラムの実際を紹介しながら、愛着障害への支援、アドバイスのあり方について説明します。また、発達障害と愛着障害を合わせ持つ場合の支援のあり方にも触れます。更に施設や学校園等でのチームとしての支援、愛着の問題を抱えるこどもの保護者、愛着の問題を抱える保護者への対応と支援のあり方にも触れます。愛着の視点からの支援が、発達やこころの支援にいかにか大切かをお話できたらと思っています。

<プロフィール> 専門：臨床発達心理学・実践教育心理学－発達支援・学習支援・人間関係支援－
モットー：現場主義！連日、保育所・幼稚園・小中高等支援学校・施設等に出かけて、支援、アドバイスしています。～支援者が元気が出て納得できるアドバイスが信条です～

著書（最近のもの）

『愛情の器 モデルに基づく愛着修復プログラム－発達障害・愛着障害 現場で正しくこどもを理解し、こどもに合った支援をする－』福村出版 2015.10 単著

『臨床発達心理士わかりやすい資格案内 第3版』金子書房 2017 共著 臨床発達心理士認定運営機構(編)

『やさしくわかる！愛着障害－理解を深め、支援の基本を押さえる－』ほんの森出版 2018 単著

『愛着関係の発達の理論と支援』金子書房 2018 近刊 編著、他多数。

講座3 (17日) 心理カウンセラーの実践力研鑽の場と機会に

福島 脩美(おさみ)先生 東京学芸大学・目白大学名誉教授



競争時代の心理カウンセラーの個性的実践のヒントとなって、クライアントに実際に役立つカウンセリングとなるような研修の場となるよう、この講座をお引き受けした。下記の著書紹介に挙げた4冊のように、僕は専門性と一般性の間で行ったり来たりしている。

どちらも心理カウンセリングの本質を担うものと考えている。この講座では、とくに著書1について、参考書として希望する方への特別販売をお願いしている。

今日の多様性と変動性の著しい社会にあっては誰もが自分の個性を生きるための迷いと心配事を抱えて日々を過ごしている。人々が主体的に自分の課題を見定め、その解決への道を歩むことは決して容易なことではない。その人々にどれだけ身近なカウンセラーとして積極的に役立っているだろうか。特定の専門領域で頑張るのもいいが、もっと基本的にかつ一般的に役立つカウンセリングを試行することが求められている。これが僕のこの講座に顔を出すことにした理由です。心理カウンセラーもまた自己研鑽を重ねて、その実践力を高め広げていくことが求められている。

クライアントの特徴に応じた場づくり、関係づくり、課題への気づきの援助、変革への多様な援助の方法と手立てなど、始発から終結へのプロセスの中で何がカギとなるかを見極めつつ、クライアントの主体的歩みに同伴する柔軟さと距離の取り方、そのためのカウンセラーの自己理解と自己変革など、この演習の中で具体的にとりあげてみたい。多くのカウンセリング実践家に参加していただけたらうれしい。

<プロフィール> 日本カウンセリング学会名誉会員 日本認知行動療法学会名誉会員

主著書 1. 心理カウンセリング実践ガイドブック—面接場面に大切な7つのプロセス— 2017

2. 相談の心理学 2011 3. 総説カウンセリング心理学 2008 4. カウンセリング演習 1997

いずれも金子書房刊、他多数。

講座4 (18日) 来談者中心カウンセリング 野島 一彦先生 跡見学園女子大学教授



本研修会では、カール・ロジャースが創始した来談者中心カウンセリングについて、理論と実際を4部構成で学びます。

パート1 = 来談者中心カウンセリングの定義、創始者のプロフィール、人間観(実現傾向、不適応の考え方、十分に機能する人間)、カウンセラーの基本的態度(自己一致、受容、共感的理解)、カウンセラーの発言形式(①単純な受容、②感情の反射、③内容または問題のくり返し、④感情の明確化、⑤リード、⑥場面構成など)、クライアントの過程(①感情と個人的意味づけ、②体験の様式、③不一致、④自己の伝達、⑤体験が構成される様式、⑥問題に対する関係、⑦関係の仕方、の領域において、固定ら変化性へ、堅い構造から流動性へ、静止から過程へと連続的に変化)についての講義。

パート2 = ロジャースの実際のカウンセリング場面のビデオ(Miss Mun)の視聴と討議。

パート3 = 講師がカウンセラー、受講者(希望者)がクライアントとなつての50分間のライブ・カウンセリングと討議。パート4 = 質疑応答。

<プロフィール>

1975年、九州大学大学院教育学研究科博士課程単位取得後退学。博士(教育心理学)。福岡大学教授、九州大学教授を経て2012年より跡見学園女子大学に勤務し、2018年4月より心理学部長。専門は個人カウンセリング、エンカウンター・グループ、スーパービジョン。臨床心理士。精神科病院、精神科クリニック、大学学生相談室、中学・高校教育相談室で非常勤カウンセラーを経験。

『パーソンセンタード・アプローチの挑戦—現代を生きるエンカウンターの実際』(共編)2011 創元社、『ロジャースの中核三条件<共感的理解>』(監修)2015 創元社、他多数。

5. 申し込み期間: 2018年8月1日(水) ~ 2018年11月9日(金)まで

※切日が過ぎても定員に満たない場合には、受付期間を延長いたします。お問い合わせください。

6. 申し込み方法: 次のHPの申込フォームからお願いします。

<http://cg-shizuoka.jugem.jp/>

できるだけインターネットからの申し込みをお願いします。「日本カウンセリング学会静岡県支部」で検索してください。お送りいただいたメールアドレスに、今後の研修会の案内をお送りさせていただきます。

・学生の方は学生証のコピーを添付してください。

7. 送金・受付完了・返金

・送金: 申込書送付から1週間以内に下記に送金をお願いします。

ゆうちょ銀行 記号 12380 番号 02566171 日本カウンセリング学会静岡県支部

・受付完了: 受講料の送金確認で受付完了となります。受付完了のご連絡をいたします。

・返金: ご本人の都合による参加取り消しの場合は、納入された費用は返金できませんのでご了承ください。ただし、事前にご連絡いただいた場合には、代理の方の参加が可能です。

下記の問い合わせ先にご連絡ください。

8. FAX で申し込まれる方は、下記連絡先にご連絡ください。FAX 用紙をお送りします。

問い合わせ先

日本カウンセリング学会静岡県支部 研修委員会 担当 内野

Email: ta-uchino@hi3.enjoy.ne.jp

Tel/Fax 054-272-7335 受付時間 8:00~20:00

問い合わせは、できるだけ Email でお願いします。

会場 静岡ホテル時之栖

住所 422-8006

静岡市駿河区曲金 6-1-54

Tel. 054-285-0001

バス 静岡駅北口乗り場 8B

美和大谷線

静岡大学・東大谷

地球環境史ミュージアム行き

曲金視覚特別支援学校静岡不動産静岡

南店前 下車

(静岡駅からバス 6~7分) バス停前

徒歩 東静岡駅から徒歩 15分



駐車場 90台 (無料)・付属施設 天然温泉天神の湯